


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	旅行を計画しよう		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で行ってみたいところを考え、旅行の計画を立てる。 ・観光地について調べ、学習に向かう意欲や興味関心・探究心を高める。 ・タブレット端末を用いて、交通機関の乗り換えや時刻について調べ、活用方法を知る。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	2 年 10 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を使用し、自分の興味や関心があるものを検索し、配信動画やイラストを見ることができる。 ・余暇活動としての活用はできているが、必要な情報を検索し、生活に生かすまでの操作スキルはまだ身に付いていない。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、Apple TV、単焦点プロジェクター、電子黒板		
	使用したアプリケーションの名称	グーグルマップ、乗換案内検索サイトなど		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・行先地の情報取得や交通手段の検索 		
活用の状況と支援	活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> ・主に総合的な探求の時間の調べ学習で活用した。 ・下北ジオパークについて、情報を得たり、まとめたりするときに活用した。 ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段や運賃、時間などを調べる方法として、検索サイトを示した。 ・ローマ字入力が苦手な生徒には、平仮名入力や音声入力の方法を支援した。 ・タブレット端末の操作スキルが個々によって差が大きすぎて、進度に大きな差が出てしまった。そのため、キーボード入力だけではなく、音声入力や平仮名入力など、個々の実態に合わせた入力方法を支援した。 ○生徒の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段の検索は、普段の生活で電車やバスを利用する機会がほとんどないため、調べ方が分からない生徒がほとんどであったが、今回の検索の仕方により、現場実習に行く際のバスや電車の時刻を調べる際に使用する生徒が出てきた。 ○今後の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間で実際に見学に行ったのときのことをまとめ、タブレット端末等を使用して報告会で発表するための準備を行っている。 		